

開館時間の変更

		中央図書館	中央図書館分室	泉キャンパス図書館	多賀城キャンパス図書館	
一時閉館	クリスマス礼拝 12/13(木)、14(金)	12月13日(木) 14:50-17:00		12月13日(木) 10:20-12:20	12月14日(金) 10:20-12:20	
開館時間変更	教職員クリスマス 12/21(金)	9:00-19:30	10:00-18:00	9:00-17:00		
	集中講義 1/7(月)~10(木)					
	センター入試準備 1/18(金)、1/25(金)		休館		8:30-20:00	
	センター入試 1/19(土)、1/26(土)	9:00-19:30	10:00-18:00 (土曜休館)			
	学部春休み期間 1/29(火)~3/30(土)		14:30-19:30	14:30-18:00	9:00-17:00	
	前期日程入試 2/1(金)、2(土)		13:00-19:30	13:00-18:00		
	後期日程入試 3/6(水)					

※大学全休の為、2018/12/28(金)~2019/1/3(木)、1/5(土)は休館いたします。

貸出期間の変更 ※学部学生のみ

貸出期間	返却期限日
12月10日(月)~1月12日(土)	1月12日(土)
1月29日(火)~3月30日(土)	4月15日(月)

試験に伴う変更

	学部学生	大学院生	教職員	本学院中高生	同窓生	学外者
相互・予約 受付停止	1月7日(月)~1月28日(月) 大学院生・教職員の相互貸借・予約(学習図書※は除く)はカウンターでお申込みください					
返却期限日	1月12日(土)					
図書貸出停止	1月13日(日)~1月28日(月) 大学院生・教職員は学習図書※のみ貸出停止					
入館停止	-			1月13日(日)~1月28日(月)		

休日開館

1/13(日)・14(月・祝)・20(日)・27(日)

開館時間は全て12:30~19:30です。

※同窓生、学院中高生、学外者の入館はできません。中央図書館分室は開館しません。

先生の本棚

4人の本学教員に、オススメの1冊を紹介していただきました。
図書館で借りることもできますので、ぜひご一読ください。

文学部・総合人文学科

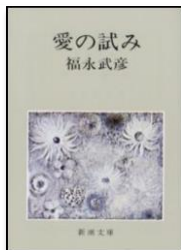
木村純二 先生

『愛の試み』

福永武彦 新潮文庫, 1975

(泉キャンパス図書館所蔵『福永武彦全集』第4巻に収録)

福永は、私が若いころに愛読した作家の一人である。手元にあるのは1989年の版で、翌年4月の大学入学前後、常に持ち歩いて繰り返し読んだ記憶がある。孤独と愛に関する思索的なエッセイが福永一流の静謐な文体で綴られ、合間に掌編小説が挿入されている。この本でその名を知った折口信夫について、後に研究者として一書を著すことになるとは、当時の自分はむろん知る由もなかった。今はもうあまり読まれず、作家池澤夏樹の父として知られるくらいかもしれないが、時代を超えて若者に読み継がれるに値する一冊だと信じたい。



経済学部・共生社会経済学科

谷達彦 先生

『読書と社会科学』

内田義彦 岩波書店, 1985

(泉キャンパス図書館所蔵)

著名は経済学史家の読書論です。「本は、どう読めば、本に読まれず、本によって奥深い現実を知る」ことができるかという問題について、著者の経験を踏まえて論じられています。どのように本を読めばいいのだろう、と疑問に思った学生の頃に出会いました。読み終えて、それまでの自分がいかに本に読まれていたのかと反省し、同時に、著者のように本を読めたらどれほど楽しいだろうなど、知的好奇心を刺激されました。それ以来、折に触れて読み返しています。本を読むことの楽しさと難しさを教えてくれる本です。



工学部・情報基盤工学科

石上忍 先生

『車のいろは空のいろ

白いぼうし』

あまん きみこ ポプラ社, 2000

工学部の学生に、工学や数学のお薦め書籍を紹介するのはあたりまえ。もちろんそれをすべきなのは十分承知の上で、上記の本をお薦めしたい。この本はいわゆる児童文学に属する本であり、私もご多分に漏れず小学校の時に読んだ。もしかしたら学生諸子も教科書などでその一節を読まれたかもしれない。ただ、本書を「子供の読む本」とはじめてから切り捨ててしまうのはもったいない。同書において、読者はファンタジーであり現実でもある世界に身を置くことになる。たとえば、同書の中に『すずかけ通り三丁目』という短編がある。ページ数にしてわずか10ページに満たない文章であるが、そこでも読者はこの作品の世界において静かなかなしみというものに否応なく体験することになる。この一冊は、私にとって、ときどき読み返したくなる本である。諸氏もそうであらんことを。



教養学部・地域構想学科

天野和彦 先生

『現代スポーツ評論 28巻

学校運動部の現在とこれから』

創文企画, 2013

(品切れ絶版)

学校の運動部活動をめぐる不祥事は、今も昔も跡を絶たず、ニュースとなっていますが、そのようななかで私が取り上げるのは、2013年に刊行された第28巻「学校運動部の現在とこれから」です。この冊子は、主に文系のスポーツ研究者がテーマごとに集い、書き上げる形式で現在まで38巻が刊行されています。この巻では、我国独自の運動文化醸成の場となった運動部活動の特殊性や問題点を、スポーツの社会学者や経営学者が中心となって読み解いています。運動部活動について考えるとき、一度手に取って是非読まれてください。

